

第1回 新庁舎整備に関するワークショップ 開催レポート

第1回 新庁舎整備に関するワークショップを開催しました！お集まりいただいたのは10代の高校生から～80代の方までと年代も幅広く、職業も様々。参加者の皆様がそれぞれの熱い想いを胸に、積極的な姿勢でワークを行っていただきました。

第1回

2025年
6月15日(日)
午後1時～3時

まちなか庁舎を語ろう！

中心市街地における新庁舎のあり方について考えます。

会場 熊本城ホール 中会議室

参加者 計32名（市民公募）

ファシリテーター

星野裕司様（熊本大学景観デザイン研究室教授）

山下裕子様（まちなか広場研究所主宰）

次回以降の予定

第2回

2025年
7月6日(日)
午後1時～3時

新庁舎をどう使う!?

第3回

2025年
8月3日(日)
午後1時～3時

新庁舎の未来を思い描く！

アイスブレイク

- まずはテーブルごとに自己紹介
- 初めましての方々と和やかな雰囲気話で話を始めることができました。



情報共有

- ワークショップの目的の共有、通町筋・桜町周辺地区のまちづくりの経緯、他都市の事例についてご紹介しました。



意見交換

- 通町筋・桜町周辺地区のマップを見ながら「まちの良いところ」「ポテンシャル」を挙げ、付箋に書いて貼りました。
- 付箋を見ながら、2つのテーマについて話し合い、意見をまとめました。



テーマ①どんなまちになってほしい？

通町筋・桜町周辺地区の「まちの将来像」に関するご意見まとめ

- 熊本城や自然など、熊本らしさが詰まったまち
- 人が中心の、回遊したくなるまち
- 安心安全で、こども達が楽しめるまち
- 商店街のポテンシャルで、昼も夜も楽しめるまち
- 老若男女が憩えるまち

テーマ②まちの将来像実現に向けて、新庁舎周辺の役割は？

新庁舎周辺地区の位置づけ・役割に関するご意見まとめ

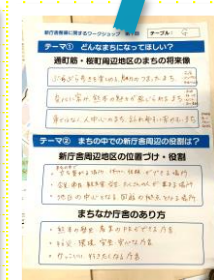
- いつでも多様な人が集える場所
- 日常利用と災害対応を備える
- 情報の発信と収集
- 回遊の拠点
- まちに足りない機能を補完

まちなか庁舎のあり方に関するご意見まとめ

- 熊本らしさを感じる庁舎
- 安全安心を守る防災拠点
- だれでも日常利用できる場所
- カッコ良い、愛着をもてる庁舎
- 環境への配慮

全体共有

- テーブルごとに発表し、出た意見を全体で共有しました。
- 発表内容はその場でイラストにまとめました。



★ 新庁舎整備のスケジュールにおけるワークショップの位置づけ

R6. 8策定 R7 R8 R9 R10以降 R14以降

基本
構想

基本
計画

基本
設計

実施
設計

工事

供用
開始

- 新庁舎整備の各フェーズごとで、様々な手法で市民の皆様への情報発信と意見聴取を行います。
- R7年度の基本計画フェーズでは、今回のワークショップの他、オープンハウス、市民アンケート等を実施しています。
- 皆様からいただいたご意見を基に、新庁舎整備について検討を進めていきます。